

## 令和4年度教育研究活動報告書

氏名	小畑拓也	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士(文学)	職位	准教授
専門分野	アメリカ文学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	欧米文学概論、欧米文学講義、比較文学、文芸創作入門Ⅰ、欧米文学専門演習a、欧米文学専門演習b、卒業論文(制作)、編集とデザイン
大学院	日本文学・言語文化総論、米文学特論、比較文学特論
II 研究活動	
現在の研究テーマ(3つまで)	
(1) テクノロジーによって揺れる人間観を中心に据えたSF読解	
(2) テクノロジー、メディア、文学の交点	
(3) 娯楽性を中心に考える「文学」の境界線	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R4・R3・R2	
R4	<p>〈評論〉「SFアニメとジェンダー：ヒーローたちのwhat-if」『尾道文学談話会会報第13号』(2023年2月)(1)-(8)頁</p> <p>〈パネリスト発表〉「トリックスターと『運命の乗り換え』」2022年8月27日 磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」(福島県郡山市) 第59回日本SF大会 パネルディスカッション「『視覚映像文化とSF』の部屋-歴史改変とマルチパス」 コーディネーター・パネリスト：中垣恒太郎(専修大学)、パネリスト： 小畑拓也(尾道市立大学)</p>
R3	<p>〈共著論文〉信木伸一・藤本真理子・小畑拓也・灰谷謙二・塚本真紀「学生の言語運用能力のパフォーマンス評価—「研究発表のループリック」から—」 『尾道市立大学芸術文化学部紀要 第21号』(尾道市立大学、2022年3月)[81]-[89]頁</p> <p>〈共著論文〉塚本真紀・藤本真理子・小畑拓也・灰谷謙二・信木伸一「学科教育課程の現状と課題—初年次学修データの分析から—」『尾道市立大学芸術文化学部紀要 第21号』 (尾道市立大学、2022年3月)[91]-[96]頁</p>
R2	<p>〈学会発表〉「アダプテーション、アダプション、アダクション—パラレルワールドをめぐる物語」2020年7月6日~15日 オンライン開催 日本英文学会第92回 全国大会シンポジウム第4部門「アダプテーションとパラレルワールド」 司会・講師：鴨川啓信(京都女子大学)、講師：小川公代(上智大学)、 講師：秦邦生(東京大学)、講師：小畑拓也(尾道市立大学)</p> <p>〈共著論文〉塚本真紀・藤本真理子・小畑拓也・灰谷謙二「学科専門教育課程における「学びのプラットフォーム」構築の試み—学修データベースの構築と活用可能性に着目して—」『尾道市立大学芸術文化学部紀要 第20号』(尾道市立大学、2021年3月)[69]-[72]頁〈共著論文〉</p>
R1 以前の主な研究業績	
(1) 「「ワールドウ」というメディア——「いま、ここ」にある物語を読む手がかりとしての拡張現実とサイボーグ——」『英米文学の可能性——玉井暉教授退職記念論文集——』(英宝社、2010年3月)747-758頁〈論文〉	
(2) 「見えないロボット——インラインのポストヒューマンな世界」『S-Fマガジン2011年4月号』(早川書房、2011年2月)217-223頁〈その他〉	
(3) グレゴリー・クレイズ『ユートピアの歴史』(東洋書林、2013年7月 監訳：巽孝之 原著：Gregory Claeys, <i>Searching for Utopia: The History of an Idea</i> [2011]) 本文・コラム・図版キャプション翻訳担当(3-309頁)〈翻訳〉	
(4) 『マクルーハンとヴァーチャル世界』(岩波書店、2005年4月)〈翻訳〉	
(5) 「タイムマシンとサイボーグ—自己統御幻想とアメリカSF」『尾道大学芸術文化学部紀要3号』(2004年3月)63-72頁〈論文〉	

学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R2・R3・R4
所属学会・所属団体 役職等と任期
Science Fiction Research Association、大阪大学英文学会、尾道市立大学日本文学会